

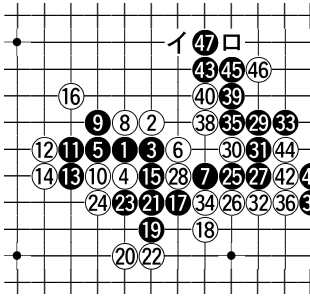
# 雲月・雨月桂馬挟みの研究(3)

九段 河村典彦

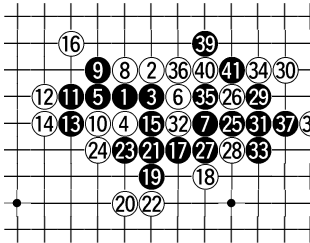
前回の続き、白14の変化を研究していこう。

【第17図】白14と16の三々を気にしないのが実は強防である。こうなると、黒は15と引いて右辺と下辺をターゲットにするしかない。

第17図



第18図

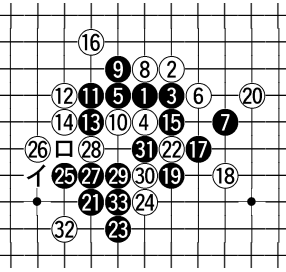


黒17、19と引いて黒7の石につながるので何とかなりそう。白20の止めなら、黒21、23と引いて、黒11、13の石をあくまで使うのが気持ちいい。黒25と含む手はいろんな定石でも現れる手筋で、「三剣あつて詰まぬことなし」という格言もある通り、筋は十分にあるので、あとは広さだけが問題だ。

白26の止めが強そうだが、黒27、29と惜しげもなく四を打って盤端が近いながらもゴールが見えてきた。白は34で剣先を作って防ぐしかないが、今度は上辺に抜けてくる。黒47後イロ。

【第18図】白26の変化。白26はこちらに防ぐのが強そうだが、黒27、

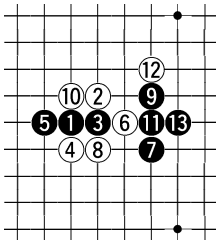
第19図



29が打ちづらい三引き。以下盤端ギリギリで勝ちが出る。【第19図】白20の反対止め。こちらなら黒はもろな下辺に向かうことになる。ここで黒21がいい感じの一手。大体直感的にカッコいい手はい手が多い。白22を24なら黒29の両ミセ一発なので、白22と防ぐしかないようだ。黒は21の石を利かせて23、25と斜めに三を引くのがまた気持ちのいい攻めだ。あとは手順に引いて行くだけで、勝ちに到達する。黒33後イロ。

【第20図】さて、研究というのは課題が解決してからが困る。これで満足すべきか、あるいはこれを元にもっと研究を広げようか・・・。

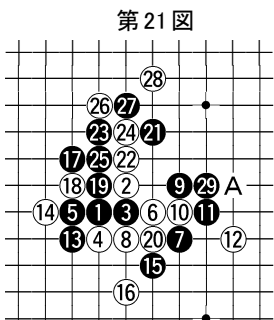
第20図



気分次第だが、研究を広げてみる場合が多い。そこから思わぬ発見があったり、結局解決できずにいらしたり。今回の場合は必然的に白8の変化を掘り下げることになった。やっぱり黒7で必勝という結論を出しておきたいのが実戦家の性である。

さて、次は図の8の変化を調べてみたい。当然黒9と叩くのが自然で強い。対して白10なら上下対称形となっている。「左右同型中央に手あり」ではないが、黒11と引き、白12をどちらに止めても黒13と中心線上に打っておけば黒はこれで必勝である。遠く離れた黒5の剣先を使う変化になることが多いので、ぜひ研究してみてほしい。

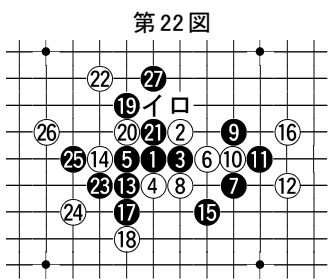
【第21図】白10ではやはりここに防ぐのが強いだろう。当然黒は11と構えることになるが、この後の変化が多く大変だ。白8に石がある



るので白12をどちらから叩くかによつてあとの展開が違つてくる。まずはこちらの12から。  
黒13は黒の権利で、14と伸びないのは当然白14に打たれても大丈夫だからだ。黒15を一本利かし、黒17から引き出す筋はいろんな所に出てくる基本手筋。ただし、黒21で22と手順で引いてしまうと、白21と止められてややこしくなる。黒21と飛んで黒23が好手順。この妙フクミがうまい手で、黒27と引けるので黒29後Aと勝ちが出る。

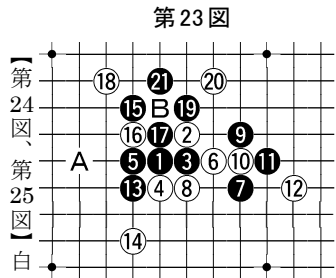
第21図

【第22図】白16の反対止め。今度は黒17と下に引く。下止めが絶対になるので、今度は黒17の石を生かした攻めが決まる。黒19から23まで引つ張つて、どちらに止めても黒勝ちとなる。白24の止めなら、黒27後イロ。白24をロなら、同様に黒25と引いて良い。また、白14を15に止めるなら、左辺で勝てるだろう。白はせいぜい中間に防ぐぐらいだが、18に止めるのは次図で。



第22図

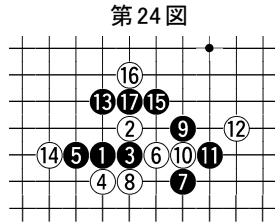
【第23図】白14は白に剣先ができるだけに油断ができない防ぎと言



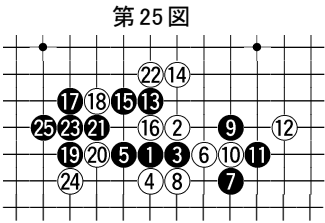
第23図

【第24図、第25図】白12の変化。こちらから叩く手も同様に強そう

だ。さすがに直接追い詰めはなさそうなので、黒13と呼手を打つておく。直接の狙いは打つてもよい。ただ、この場合は黒15から直接攻められるだけに、休む必要はない。  
やはり黒15と飛ぶのが急所で、以下手順に引いて黒21後AまたはBとなる。白18を反対なら、先に黒21とミセれば解決する。  
また、白16の外止めも考えられるが、冷静に黒17と引いておけば簡単だ。



第24図



第25図

【第24図、第25図】白12の変化。こちらから叩く手も同様に強そうなので、黒13と呼手を打つておく。直接の狙いは打つてもよい。こうなるとどこに止めても五十歩百歩だが、白16の止めなら黒17と飛び出して広い左辺に展開するのが良い。黒19、21、23と怒涛の攻めは筋に入っており、黒25の三まで行けばあとは簡単だ。わからない時は広い場所を目指すのも一つの目安である。